

地球の宝もの

インドの トラとゾウを 守る 2011



演劇公演：MUIBO「jātaka ～森編」
お話：見城美枝子・戸川久美・坂元雅行
インド舞踊：小久保シュヴァ

日時：2011年9月23日(金・祝) 14:00～16:00

場所：インド大使館インド文化センター

東京都千代田区九段南2-2-11 地下鉄九段下駅2番出口徒歩3分

入場料：無料 要予約 予約締切9月21日(水)

(予約のない方は入れません)



特定非営利活動法人

トラ・ゾウ保護基金

<http://www.jtef.jp>

主催／特定非営利活動法人トラ・ゾウ保護基金
後援／在日インド大使館 公益財団法人日印協会

いろいろな顔を持つ奥深い国、インド。

お芝居と、お話と、インド舞踊で、野生の世界をじゅうぶん感じてください。

【演劇公演】「jataka ～森編」

MUIBO (ムイボ)

2009年、P.ジュースキントの小説「香水」を原作とした「Le Parfum」の上演にあたって主宰の田中麻衣子を中心に集まった演劇集団。メンバーは個々に舞台・映像・ライブ等で活躍している。今回はジャータカ話集より、いくつかの話を上演予定。

「jataka (ジャータカ)」: 本生譚。インド最古の物語集。紀元前三世紀頃に古代インドで伝承されていた寓話を元に作られた547個の話。『今に始まったことではない…』との前置きで始まる輪廻転生の物語。

出演 太田緑ロランス 谷村実紀 李千鶴

音楽 国広和毅

演出 田中麻衣子



前回公演より

【お話】

トラ・ゾウ保護基金理事長 戸川久美 事務局長 坂元雅行

青森大学教授・ジャーナリスト 見城美枝子



野生のトラは今、世界中に3200頭しかいないと言われている。その半数以上が暮らす国がインドである。最大の肉食獣であるトラや地上最大の草食動物であるゾウが生息する豊かな森は、微生物から小さな草花、木の実をつける植物、昆虫、ヘビ、鳥、大きな獣にいたるまで多様な動物が生きる「野生の世界」をはぐくむ。地元住民とともに、この「野生の世界」を保護する活動の最前線を語る。

見城美枝子

TBSアナウンサーを経て、フリーに。青森大学社会学部教授、ジャーナリスト。トラ・ゾウ保護基金のサポートリーダー。過去に、海外取材番組『おはよう700』の司会の他、野生番組のありのままの姿を描いた『野生の王国』のナレーションも務めた。現在はTBSラジオ『大沢悠里のゆうゆうワイド』毎週水曜日担当。

著書『会話が上手になりたいあなたへ』(二見書房) 発売中。

【インド舞踊】

インド人舞踊家 小久保シュヴァ

3歳より舞踊をはじめ、81年に「ママタ・シャンカール舞踊団」に250名の中から唯一人、最年少で合格。以後、ヨーロッパ、アジア、アメリカなど、世界各国で公演を行う。大学に籍を置きながらママタ・シャンカール舞踊教室の教師を務め800名を数える生徒の指導に当たる。

88年コルカタ大学卒業。日本に在住する以前の85年、92年の二度にわたり来日公演を行っている。現在、豊田・名古屋・東京・川崎で舞踊教室を開講するほか、インディアン・クラシカル・ダンス・トゥーループ主宰。日本各地で公演を行うかたわら、日印交流に努め、インド文化についての執筆や講演など幅広い活動を行っている。



【お問い合わせ・予約先】

NPO法人トラ・ゾウ保護基金

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-5-4 末広ビル5F

TEL: 03-3595-8088

FAX: 03-3595-8090

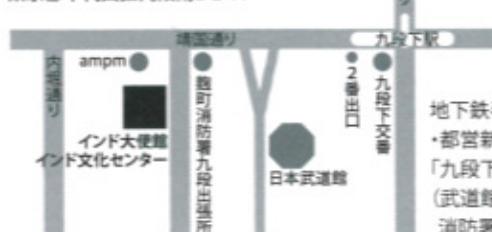
e-mail: hogokikin@jtef.jp

URL: www.jtef.jp



【会場情報】

インド大使館 インド文化センター
東京都千代田区九段南2-2-11



地下鉄半蔵門線・東西線
・都営新宿線
「九段下駅」2番出口より徒歩3分
(武道館を左側にして歩き、
消防署の角を曲がってすぐ)